

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ(Seminar Ⅳ)		授業コード	E002760
担当教員名	古川 順一		科目ナンバリングコード	E041204
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	人間として一番大切にすべきことについて勉強したい人なら、だれでも歓迎です。			
受講心得	卒論の内容を、それぞれ、少しずつ報告して、まとめていってもらいます。			
教科書	ゼミでその都度指示する			
参考文献及び指定図書	村松他『はじめて学西洋思想』(ミネルヴァ書房) 鈴木信雄責任編集『日本の経済思想 2』日本経済評論社 『情況 マックス・ヴェーバー再考』2000年7号			
関連科目	西洋経済史、経済学史			

授業の目的	人間として一番大切なことを、思想の歴史を通して学ぶ。 今まで西洋の歴史を通して学んできた人間として一番大切なことを土台として、それぞれの卒論の課題に取り組むことで、それをさらに深く知り、社会へ出でも実行する人となること。どの地域でどのような仕事をする際にも必要な、普遍的視点を身に付けてもらうことを目標としています。
授業の概要	それぞれ決めた卒論のテーマを、順番に少しずつ報告していってもらいます。 テーマはそれぞれのもですが、その共通の土台となる、一番大切なことも、さらに掘り下げて学んでいきたいと思えます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。	レポート提出
<b>第2週：</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。	レポート提出
<b>第3週：</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。	レポート提出
<b>第4週：</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。	レポート提出
<b>第5週：</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。	レポート提出





<b>第28週:</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。		レポート提出
<b>第29週:</b> 人間として一番大切なことは何かを考えながら、自由にテーマを選び、卒論をまとめます。 テーマは、とくに、歴史、社会、経済、思想などに関係する形で、選びます。 また、人間として一番大切にすべきことそのものも、ともに学びます。		レポート提出
<b>第30週:</b> 卒論の最終チェックをします。ゼミで卒論発表会を3年生と合同で、また別の機会にします。		卒論提出予定日
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	人間として一番大切なものに向き合うことができる。
<b>【知識・理解】</b>	人間として一番大切なものを大切にす社会、思想、文化について理解する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	人間として一番大切なものを正しく表現し、伝えることができ、社会でも実践する力を身に着ける。
<b>【思考・判断・創造】</b>	人間として一番大切なものについて深く考えることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		45点	10点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		

**(「人間力」について)**  
 ※以上の観念に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	基本的に毎回レポートを提出してもらいます。 [Sレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために到達すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	